

平成 28 年度 乙訓圏域障がい者自立支援協議会

相談支援部会 活動報告（案）

1 設置の経過と目的、役割等

乙訓圏域障がい者自立支援協議会では、平成 22 年度に、障がい分野での個別相談支援体制の充実が図れるよう、相談支援プロジェクトを設置し、乙訓圏域障害者相談支援事業所連絡会を中心に、京都府の特別アドバイザーの指導・助言を受けながら、相談支援システム・プロセス・支援体制等について研修を重ねました。

そのなかで、支援を必要とする人の生活全般についてのプランの作成をするには、多くの課題があることを認識したことから相談支援業務の目的と役割の整理を具体的に検討していくため、平成 23 年度に「相談支援部会」として発足しました。

2 昨年度までの経過

「相談支援部会」は発足から、相談者がよりスムーズな支援につながるシステムの整備を重点課題として、インテークシートやフロー図の作成、インタビュー調査や相談支援専門員のスキルアップ研修など、多岐にわたって検討協議を重ね、取り組みを実施してきました。

平成 25・26 年度は障害者総合支援法による「サービス等利用計画・障がい児支援利用計画」について、ご家族を対象にした計画相談説明会を開催しました。また、平成 26 年度は圏域内の相談支援事業所とサービス提供事業所の支援者を対象に、スキルアップと人材定着を目的とした研修会を実施しました。

そして、平成 27 年度はより良い支援を提供するためには、相談支援専門員のスキルアップや福祉サービス従事者の定着が必要だということから前年度に引き続き研修会を実施しました。また、住民ニーズの把握のため、本人や家族の疑問に答えることと、各市町の障がい福祉計画についてまずは内容を知るため福祉サービスの支給量と利用実績数値の分析を行う準備について協議しました。さらに、相談支援専門員のスキルアップや、地域課題の抽出を目的として事例学習を実施するためのルールを確認し、取り組みははじめました。

3 今年度の取り組み状況

(1) 部会

- 第1回部会 7月6日(水)
(議題) 1) 各委員の自己紹介
2) 部会長・副部会長選出
3) 昨年度のまとめ(案)の確認
4) 平成28年度協議課題の確認及び協議の進め方について
- 第2回部会 8月25日(木)
(議題) 1) 障がい福祉計画について
2) 研修会の実施について
3) 事例学習
- 第3回部会 10月5日(水)
(議題) 1) 障がい福祉計画について
2) 研修会の実施について
- 第4回部会 12月16日(金)
(議題) 1) 研修会の報告について
2) 障がい福祉計画について
3) 事例学習
4) 地域生活支援部会より受けた緊急時について
- 第5回部会 1月23日(月)
(議題) 1) 障がい福祉計画について
2) 部会員の補充について
- 第6回部会 2月22日(水)
(議題) 1) 障がい福祉計画について
2) 平成28年度活動報告案について
- 第7回部会 3月22日(水)
(議題) 1) 障がい福祉計画について
2) 平成28年度活動報告案について

(2) 作業チーム会議

- 第1回作業チーム会議 8月9日(火)
(議題) 1) 障がい福祉計画について
2) 研修会の開催について
- 第2回作業チーム会議 9月8日(木)
(議題) 1) 障がい福祉計画について
2) 研修会の実施に向けて

第3回作業チーム会議 10月6日(木)

(議題) 1) 研修会の実施に向けて

第4回作業チーム会議 11月14日(月)

(議題) 1) 障がい福祉計画について

2) 今後の部会スケジュール、議題等について

第5回作業チーム会議 11月29日(火)

(議題) 1) 研修会の実施に向けて

第6回作業チーム会議 12月21日(水)

(議題) 1) 障がい福祉計画について

第7回作業チーム会議 2月6日(月)

(議題) 1) 障がい福祉計画について

第8回作業チーム会議 3月16日(木)

(議題) 1) 障がい福祉計画について

(3) 研修会

実施日時 平成28年12月10日(土) 10:00~15:00

場 所 向日市福祉会館にて

テーマ 「その人が本当に望む暮らしを実現する」だからザ・チーム支援!
講義とシンポジウム、グループワーク

(添付資料: 1-1)

4 今年度の活動

(1) 概要と取り組み

平成28年度は、以下の3点について取り組みました。

- ① 相談支援専門員のスキルアップと福祉サービス従事者の定着に関すること
- ② 第4期障がい福祉計画から現状を知ること
- ③ 事例学習
- ④ 地域生活支援部会より受けた緊急時対応について

なお、ご本人や家族の疑問に答えることについては、事例学習を優先して取り組むこととなり今年度は実施しませんでした。

- ① 相談支援専門員のスキルアップと福祉サービス従事者の人材定着に関すること

今年度も相談支援専門員のスキルアップと人材定着を目的として、乙訓障害者支援事業所連絡協議会と共催で研修会を実施しました。

前年度に引き続き、午前中は実際に現場で活躍されている2名の講師より、テーマに則した講義を聴かせていただき、午後からは支援者同士の顔の見えるつながりが築けるようワールドカフェ方式を用いたグループワークを実施しました。

講義の内容は、本人主体の考え方や、チーム支援の重要性、チーム作りの考え方やポイント、チームの意識改革など具体的なケースを交えてのお話でした。

グループワークでは、「本人の望む暮らしを実現する」ためのアイデアを活発に出し合い、前向きな支援プランの立て方を学ぶと同時に、支援員同士の交流が深まった有意義な時間でした。

最後は、華頂短期大学教授の武田康晴先生よりまとめをいただき、改めてチーム支援の大切さを認識した研修会となりました。

課題として、参加者が年々減少していることが挙げられます。今後継続するにあたっては、主催団体、呼びかけ方法、開催時期などの検討が必要だと思われれます。

(添付資料：1-2)

なお、今年度も京都府のアドバイザー派遣制度を利用し、武田康晴先生に来ていただき、研修会の開催に向けて助言をいただきました。(10月6日および11月29日 作業部会にて)

② 第4期障がい福祉計画から現状を知ること

平成27年度から引き続きの課題として、「第4期障がい福祉計画から乙訓地域の福祉サービスの現状を知ること」を目的に取り組みを始め、今年度も継続して議論してきました。

まずは、二市一町から情報提供していただいた「平成27年度の福祉サービスに係る支給量と利用量」についてのデータの読み取りから始め、さらに9つの福祉サービスに絞って考察や疑問点について意見交換を重ねてきました。

その中で、数値だけでは読み取れない現状や疑問点を共有し合い、改善策や今後の課題等の意見も出されました。また、市町ごとで計画の立て方や表記の仕方が異なること、数値の出し方についての疑問や要望も出されました。

それらの内容をまとめ、資料として作成しました。(添付資料：2)

平成29年度には、各市町とも「第5期障がい福祉計画」の策定が行われます。何らかの形で参考にしていただけることを願っています。

③ 事例学習

前年度からの引き継ぎ課題として、事例を通して相談支援専門員のスキルアップや、地域課題の抽出を目的に、今年度も事例学習を2ケース実施しました。

地域の課題や社会資源の現状を事例から学び、共有することは大切なことであり、今後も継続するためには実施方法を模索する必要があると思われま

④ 地域生活支援部会より受けた緊急時対応について

年度途中に、地域生活支援部会から「緊急事態発生時にどのような体制がとれるか」、また計画相談のインテークで緊急時についての聞き取りができるよう相談支援部会にて検討してもらえないかとの依頼がありました。

部会内で検討した結果、相談支援事業所連絡会で検討してもらえるよう働きかけ、了解を得ました。

5 次年度の課題と方針

平成28年度の活動を通じ、次のような課題がありました。

- ① 相談支援専門員のスキルアップやサービス提供者の定着を目的とした研修会について、参加者が年々減少していること
- ② 障がい福祉計画について、まとめた結果を何につなげていくのか、また、まとめられていないサービスについて今後どうするのか
- ③ 事例学習の継続方法について

相談支援部会は、計画相談の導入に伴いご家族を対象にした説明会や、支援員のスキルアップのために、相談支援専門員やサービス提供事業者を対象とした研修会を実施し、一定の成果を上げてきたところです。また、圏域内の障がい福祉サービスの支給・利用状況を明らかにして、事業ごとの特色を把握する中で、地域の現状や課題を明らかにする取り組みをしてきました。

次年度は、上記の課題解決に向けて、障がい児・者の福祉は相談支援が軸になっていることを自覚し、改めて相談支援部会の取り組みを考えていきます。

また、喫緊の課題である「地域拠点」構想なども視野に入れた議論ができる部会へと、発展させていく必要があります。

<添付資料>

- 資料1-1 研修会「その人が本当に望む暮らしを実現する だから ザ・チーム支援！」案内
- 1-2 同 まとめ
- 2 「第4期障がい福祉計画から現状を知ること」まとめの報告書